

# わいわい地域交流!

東京の中心、都庁のとなり、都会のオアシス  
私たち地域住民のコミュニケーションをここから発信しよう!!

## わが町の旬なニュース

新宿五丁目再開発完成予想図



東宝コマ劇場跡地再開発完成予想図



イベント情報はこちる

## 地区協・あれこれ

### 安全安心分科会

#### ○ 防災施設見学会報告

平成25年12月15日東京臨海広域防災公園『そなエリア東京』へ行きました。地域の方々が大勢参加されていたため、西新宿という住宅密集地という土地柄、皆さんの防災への意識の高さを窺い知ることができました。私自身東日本大震災の体験を機に災害への関心は高まり、引越しの際は新建築基準法施行後に建てられた鉄筋鉄骨マンションを選択しましたが、その後都内では大きな地震もなく小さい地震が3年間も続いて地震慣れしてしまったため、何一つ装備をしてない状態でした。

施設はあらゆる場面を想定されて選ばれた立地と機能で素晴らしい設備でした。液状化現象のしくみを簡単な実験で教えてくれたり、災害発生時に国の各機関のトップが集まって指令を出す「オペレーションルーム」も拝見できました。国内外の防災グッズを見ている時は参加の方々から「これ持ってる!」という声も聞こえ、全く備えていない自分を反省しました。



「東京直下72h TOUR」は、老若男女問わずゲーム感覚で楽しめる体験でした。被災市街地をニンテンドーDSを使ってクイズに答えながらゴールの避難場所へ行くもので、各自のクイズが違うためカンニングはできません。クイズは、商店街に火の手が上がった場合の対処法や電車復旧までの時間を聞き取る、避難場所マーク探し、ガスの復旧作業法は?などに回答します。私自身、東日本大震災の時にガスが止まる経験をしたにも関わらず、すでに復旧方法を忘れていて戸惑いました。また、ニンテンドーDSの操作が難しいと感じツアーに参加されなかった方もいたため、国の施設だけにもう少しの工夫もほしいなとも感じました。



見学会後は、記念品で貰った笛を携帯したり、非常食を常備するようになりました。こういった施設があることを知らなかつたため、今後もこういう情報を積極的に地域の方々へ発信する必要性を感じました。

安全安心分科会委員 相澤陽子



大きくてピカピカなランドセル姿が目立つ季節になりました。まるでランドセル自体が跳びはねているその様子には、思わず笑みがこぼれます。その姿を見て、ふと「またひとつ歳をとったな」「でも、初心忘るべからず」と呟いてしまいました。

春とは、人生の区切りを感じる季節なのかも知れません。

地域交流分科会 小池 潔

### 編集後記

#### 「霞はれて 富士嶺白く 此処からも見え」

寒暖日替わりの日本、大雪・洪水・山火事・地震・噴火、地球は気象に翻弄されているようです。地では消費税8%、庶民の財布は痩せるばかり。

「やすらぎとにぎわいのまち新宿」から発信して、和やかな「おもてなし」が出来るように、地域のみなさまと手を取り合って協力ていきましょう。

淀橋会館様、歌舞伎町商店街振興組合様、今号の取材等にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

地域交流分科会 井上 詠子

「わいわい地域交流!」の紙面作りにご意見・ご感想のある方、情報を掲載したい方、紙面作りに参加したい方、大歓迎!  
ご連絡をお待ちしております。次回も地域に密着した話題をお届けいたします。次回の発行は2014年7月の予定です。

#### 【連絡先・発行元】

角筈地区協議会「地域交流分科会」事務局（角筈特別出張所内）

TEL: 03-3377-4381 FAX: 03-5350-2868 E-MAIL: tsunohazu@city.shinjuku.lg.jp

HP: [http://wwwcity.shinjuku.lg.jp/soshiki/262200tunohazu\\_01.html](http://wwwcity.shinjuku.lg.jp/soshiki/262200tunohazu_01.html)

西新宿地域情報紙 わいわい地域交流! 第32号 発行日: 2014年4月1日



古紙配合率100%再生紙を使用しています

# 「地域の再開発を取材しました」

## 西新宿5丁目再開発事業①

再開発事業について淀橋町会会長佐々一郎氏、並び淀橋会館理事長石井稔氏にお話を伺いました。

西新宿5丁目地区は戦後間もなく建てられた民家や商店が多く、住民も高齢者が多く、火事の心配が常にあったようで、1992年地域の有志で再開発に向け「街づくり有志会」を発足し、以降約20数年を経て、都の不燃化特区（東京23区の木密地区で2020年までに不燃化率70%に上げ、再開発ビルや道路拡張、木造住宅の建て替え促進を助成）制度に申請し、11月2日に実施予定となった。

北側は老朽化した住宅や店舗を高層ビルに建て替え、地上60階建てのタワーマンションが工事中です。

南側は高層化はせず、道路の拡張や建物の建て替え等で不燃化促進を柱にしている。

北側地区は、西新宿5丁目北地区防災街区整備事業、同中央北地区市街地区再開発整備事業、同中央北区市街地再開発整備事業に分かれ準備が進んでいる。

完成すると若い世帯の方や子育て世代の方々が住民となり世代交代の環境に進化する事に町会長、理事長さんも期待しています。

写真は建築予定の60階建てのタワーマンション完成予想図と新しい淀橋会館の完成予想図です。

## ICC オープン・スペース体験記③

東京オペラシティタワー4階にあるNTTインターミニケーション・センター[ICC]では、年度ごとに展示内容を変えながら入場無料で公開している「オープン・スペース」展をおこなっています。

3月2日まで公開していた「オープン・スペース2013」展を体験してきました。

4階の受付で見学の手続きをし、まず最初に目に付いた長針、短針に自分の姿が投影される時計に興味を持ちました。続いて歩く人の前に足跡が表れる《未来の足跡》が観覧者を先導します。更にまばたきをした瞬間にシャッターが切られる《瞬き証明写真》に感心しました。

これらを含めて24あまりの展示があり、側に当館の展示ナビゲーターがありますので、質問する事も操作の説明を受ける事も出来ます。

全てを紹介出来ませんがいくつか印象に残った展示を紹介します。

ノヴァ・ジャンの作品は、キーボードのEnterキーを押すと、コミックのコマが順番に表示され、自分の顔がコミックタッチに変換され大きなスクリーンに現れます。

続いてベ・ランの作品は、フレームに張渡されたシリコンのチューブの上を多数のリングが細かく振動しながら左右に行き来し、目と耳を楽しませてくれます。

部屋に入るとティル・ノヴァークの作品《遠心力体験装置》。一見すると、遊園地のアトラクションの遊具の映像ですが、常軌を逸した、高速に回転する巨大な球体から放射状にその遠心力によって飛び出す回転ブランコ等、高速回転運動によって強力な遠心力や加速度を体験できるようデザインされています。

続いて隣の部屋は、グレゴリー・バーサミアンの作品《ジャグラ》で、ジャグラ（曲芸師）が空中に投げ上げた受話器が哺乳瓶、そこから飛び出したミルク、さいころ、骨へと次々にその形を変化させ、最後の骨がパラシュートに乗ってジャグラの手元に電話機になって戻ってくる、機械による反復と残像効果によって夢のようなイメージを作り出しています。

まだまだ紹介したいのですが紙面の都合もあり、ぜひ皆さんで実際に会場に行き体験して下さい。次回「オープン・スペース2014」展では、多くの作品が入れ替えられ、新たな体験をすることができます。時間を忘れるほど、ある種刺激のあるミュージアムです。なお会期等詳細については、館に直接問い合わせをするか、HPでご確認下さい。

TEL : 0120-144-199

<http://www.ntticc.or.jp/>

## 旬の話題



## 歌舞伎町コマ劇場跡地再開発②

新宿コマ劇場は1956年（昭和31年）に開業し新宿東宝会館とともに歌舞伎町のシンボルとして多くの方に親しまれてきたが、建物や設備の老朽化が進み安全や防災面を考え再開発の運びとなった。

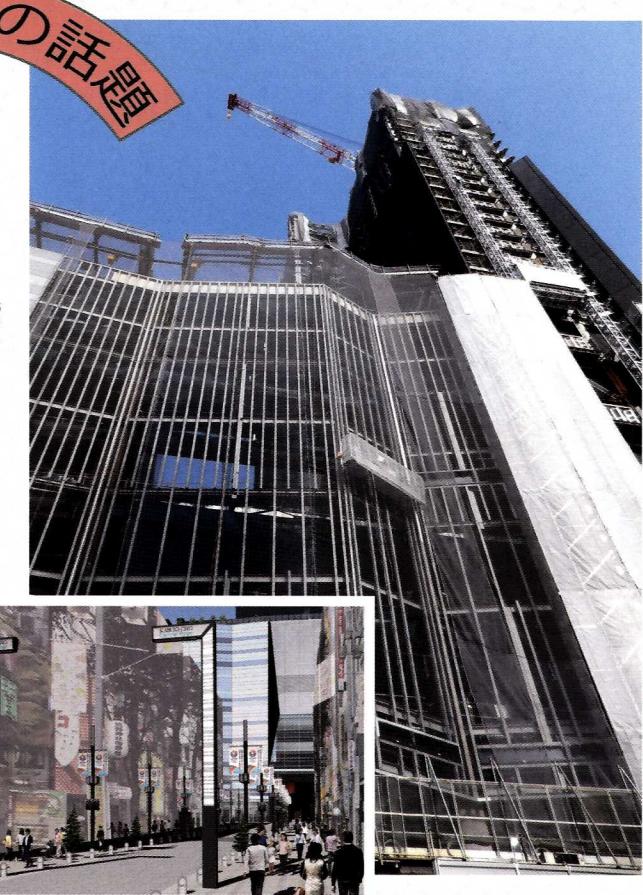
2011年7月、東宝株式会社は新宿コマ劇場、新宿東宝会館跡地再開発の発表を行った。跡地には地下1階地上31階建て（高さ130m）で、9階～31階はフントンホテル、3階～6階は最新鋭のシネコンが入る予定。総工費は約250億円。完成すれば近隣の建物ではひときわ高く新宿駅東口の新たなランドマークとなり、また新宿区のまちづくりビジョンである「エンターテイメントによる歌舞伎町の活性化」と合致し地域の発展に寄与するものである。

2015年春完成開業予定。

2020年の東京オリンピックの際にもこういったホテルは需要が高まるであろう。歌舞伎町は以前からエンターテイメントの中心地であり、世界の人々に親しまれてきた街である。

また、新宿駅からコマ劇場跡地へ向かうセントラルロードの歩道・車道も整備されるとのこと。このランドマークの完成により、歌舞伎町へ多くの新たな人の流れが予想される。

## 旬の話題



## 「31号に掲載されたイベントを体験しました」

### 京王プラザホテル「バーテンダー選手権」④

夕景をバックに建つ都庁を前に、45階のバーでバーテンダーの方々からいろいろなお話を聞きながら新しい味わいの創作カクテルをいただくというとても贅沢で楽しい取材でした。

今回の「バーテンダー選手権」は京王プラザホテルのバーテンダー29名が創作カクテルに挑戦！お客様の投票によって6名選ばれ、さらに2月27日の「カクテルアワード」でベストバーテンダーが決定します。今回のテーマは「Revolution」。女性ファンの増加や健康志向の高まりで注目される四つの素材「ベジタブル・フルーツ・ビネガー・シーズニング」を使い新たな味わいのカクテルを創作したそうです。どれも工夫された色、香り、味わいの見事なカクテルでした。カクテルに付けられた名前も、バーテンダーの方の思いが表現されています。

帰路見慣れた景色にも関わらず、旅先のひとこまの様に感じたのは“カクテル”的なせいでしょうか？みなさまもぜひ地元のホテルバーでお気に入りのカクテルを見つけてはいかがでしょう。



### まちの先生見本市⑤

西新宿小学校を会場とし、45の団体がエコに関するブースを設け、エコライフの体験や、手作り工作、展示などが行われました。特に「マイCDケースづくり」や、「木を使っておもちゃづくり」「ソーラーカーづくり」等の手作り工作には、下校前の児童や、再登校した子供たちで賑わっていました。

他に、同じ形の蓋付きの空き缶に、どんぐりやアズキ、黒豆、松ぼっくり等を入れ、振って音を聞き中味を当てる遊びや、動物探しかるたなど、遊びながら自然に関心が持てる「ネイチャーゲーム体験」、杉の木の間伐材を砕（かんな）で削ってマイ箸を作るブース等、都会ではなかなか出来ない体験ができ、楽しみながらエコを学べるすばらしい催しでした。

### 「カクテルアワード VOL.11」

「わいわい地域交流」西新宿地域情報紙の新宿周辺イベント情報より、今回は京王プラザホテルに伺い、南館の宴会場（エミネンスホール）で285名のお客さんが集まりました。



テーマは「日本のおもてなし」でバーテンダー選手権を勝ち抜いた6名のバーテンダーが技と創作力を競いました。私達の1票と審査員5名の票決でチャンピオンが決定されます。

席に着くと食前酒としてシャンパンが注がれます。料理とビール、ワイン、日本酒の好みの飲物とバーテンダー6名のカクテル創作を見、更に彼らの創作カクテルを私達も飲みながら1票を投じ、カクテルも料理も美味しく戴きました。

今回のチャンピオンは小鷺崇文氏「こののは」（美しい日本の言葉）のテーマで、四季を彩る繊細な表現や、相手を敬う気持を込めたおもてなしの言葉……。優しくて心に響く日本の言葉をカクテルに変え創作したそうです。



写真提供：(公財) 東京オペラシティ文化財団